

2010.10

あつかし 荘だより

まごころ・ふれあい・思いやり

あつかし荘は、利用者の主体性と自主性を尊重し、人間としての尊厳に根ざした介護を進めます。

あつかし荘は、家族・地域社会との連携を密にし、あたたかい家庭的環境を築きます。

＝リレー
エッセイ＝



河野悦子
介護士

利用者様の笑顔が励みに

私があつかし荘に勤めるようになってから早七周年を迎え、月日はのやさを感えています。振り返ると、仕事を始めた当初は緊張と不安で余裕のない毎日でした。しかし、利用者様との日々のふれあいの中で見せてくださる笑顔が何よりの励みになりました。

これからも入居されている方々の声に耳を傾け、お一人お一人に寄り添える介護ができるよう努力していきたいと思ひますので、どうぞよろしく願いいたします。

■これからのおもな行事予定

- 10月
- 4日 ホーム内喫茶
愛唱歌ボランティア
グループレクリエーション
(おやつづくり)
 - 14日 阿津賀志食堂(選択食)
 - 18日 消防総合訓練
 - 22日 鹿島神社祭礼山車訪問
行事食(赤飯弁当)
- 11月
- 3日 行事食(文化の日)山菜ふかし
いも煮会
 - 4日 ホーム内喫茶
愛唱歌ボランティア
干し柿づくり
名鉄レストラン
 - 11日 阿津賀志食堂(選択食)
 - 18日 行事食(勤労感謝の日)うな重
 - 23日 行事食(勤労感謝の日)うな重
 - 25日 あつかし弁当
- ※日程は予定ですので、変更となる場合もあります。どうぞご了承ください。



あつかし荘敬老会 皆様のご長寿をお祝いしました

徳北太鼓保存会(国見町)・伊達崎婦人会(桑折町)がお祝い

9月12日、平成22年度あつかし荘敬老会を開催しました。佐久間紀明園長のあいさつと、米寿2名、喜寿3名、90歳以上13名の利用者様の紹介がありました(最高齢は101

歳)。続いて敬老祝金と賀寿が一人一人の利用者様に手渡されました。

ご家族からは「あつかし荘の職員

にたい

へんよく

くして

もらっ

て長生

きでき

ている。

これか

▲ご家族から感謝のことば

らもよろしくお願ひしたい」と、施設

に対して感謝のことばを頂戴しま

した。

園長から御祝の花束を贈呈したあ

と、国見町・徳北太鼓保存会の太鼓

の演奏、桑折町・伊達崎婦人会の舞

踊が披露され、敬老会に花を添えて

くださいました。ありがとうございました。

ました。

ました。

ました。

ました。

ました。

ました。

ました。



▲園長から花束の贈呈(上)
伊達崎婦人会の舞踊(下)



第7回あつかし荘夏祭り 太鼓や舞踊で楽しいひと時を過ごす

猛暑のため、初めての屋内開催となりました。

8月8日、あつかし荘第7回夏祭りを開催しました。今年も春から実行委員会をつくり、実行委員長の大條信人介護士を中心に、皆さんに楽しんでいただけたらという企画や会場レイアウトの準備をすすめてきました。

ところが、今年の夏は連日35度以上の猛暑日が続き、来園者の負担軽減を考え、

2日前に急ぎょ屋内開催に変更する事態に。しかし、屋内とはいえ、200人近い大勢の方々の熱気で場内はムンムン。それでも、いつもは短時間しか外に出ることのできない利用者さんとも、今年はお家族と一緒に安心してゆっくりと夏祭りを楽しむことができたように思います。

ご参加いただきましたご家族、地域の皆様、そして法人役員の皆様方に御礼申し上げます。また、例年同様、藤田婦人会、藤田本町若連の皆様、福島学院大学、同短期大学部専攻科、福島北高の学生ボランティアの皆様にはたいへんお世話になりました。紙面をお借りして感謝申し上げます。



1…初めての屋内開催の夏祭り。会場のホール・食堂は超満員となりました。2…今年も藤田婦人会の皆様の舞踊を2曲ご披露いただきました。3…藤田本町若連の皆様も連続7回の賛助出演。運営面でもご協力いただきました。4…食堂側からステージをみたところ。5…4月に就任した谷口紀夫理事長から来場の皆様へ御礼のごあいさつ。6…最後は恒例の抽選会で盛り上がりました。

国見町社協サマーショートボランティア

写真は参加の小学生（右）▶

7月22日から8月13日までの11日間、国見町社会福祉協議会の第4回サマーショートボランティアスクールが実施されました。これは、国見町内の各事業所で体験を通じ、ボランティアへの理解を深めることを目的とするものです。

あつかし荘へは、延べ21人の小中学生および

一般の方がおいでになり、はじめに簡単に「高齢者と認知症」などに関することを学んで、そのあと、活動に入っていました。体験では車いす操作、洗濯物たたみ、紙芝居、利用者さんのお話しなどをおこない、有意義な時間を過ごしていただきました。



あつかし かわらばん

苦情解決委員会開催 事故・拘束の報告も

7月27日、法人苦情解決委員会が梁川ホームで開かれ、平成21年度事業報告並びに22年度の事業計画について報告がありました。

21年度あつかし荘においての苦情は特養、ショートステイともに0件、身体拘束については、胃ろうチューブを自己抜去された方の再抜去のおそれからミトン手袋・つなぎ着用1件がありましたが、可能な限り手袋等を外す取り組みを行って来ました。

また21年度の事故発生状況は転倒36件、転落9件などあわせて88件となりました。これは前年度比4件の減ですが、引き続き、職員全員に対して『サービス提供マニュアル』を徹底させ、ヒヤリ・はつとの分析などをすすめるながら、事故を未然に防ぎ、そして1件でも少なくなるよう取り組みを進めてまいります。



▲苦情解決委員会のようす

今月の ワンポイント 認知症 ⑤

あつかし荘では、認知症に対する理解を深め、「一人ひとりの利用者のその人らしさを大切に、その人を中心としたケア」ができるよう取り組みをすすめています。今月のワンポイント認知症は、「認知症の中核症状」についてです。

中核症状とは、認知症の人に必ず現れる症状で「主症状」ともいわれます。中核症状には、①記憶障害、②見当識障害、③実行機能障害、④失語、⑤失認、⑥失行、⑦人格の変化、の7項目があります。

JA 伊達みらい様より 新鮮な完熟桃の寄贈

8月6日、恒例となっているJA伊達みらいモモ生産部会様より完熟品の贈呈がありました。JA様からは井砂支部長、藤島所長が訪問され、利用者代表の方々に完熟桃を手渡しました。真っ赤に色づき、見るからに美味しいそんなモモを目の前にして、利用者の皆さんも大喜びでした。



▲井砂部会長から贈呈

宮城県名取市まで バスツアー



▲店内を散策する利用者の皆さん

6月10日、宮城県名取市のショッピングモール・エリまで買い物に出かけました。バスの車窓から見える景色を楽しみながら、一路目的地へ。軽食を楽しんだ後、ウィンドウショッピングなどのんびりと時間を過ごしました。

2. 見当識障害

認知症になると、記憶障害や理解力、判断力が低下するため、時間、場所、人物の見当がつけられなくなります。

例えば、今が何月何日か、何時か、一日のうちのいつ頃か（朝か昼か夕方か）、いつの季節か、などがわからない（時間の見当識障害）。また、自分が今どの辺りにいるのか見当がつけられない、頭の中に地図を描けない。タバコを買いに行つて、家に戻れなくなる、自分の部屋やトイレを探つてうろろする（場所の見当識障害）。そして、目の前の人や周囲の人が、自分とどんな関係にあるのか見当がつけられなくなる。自分の息子や娘が認識できず、他人呼ばわりする。介護職員を母親だ

万に備えて 夜間消防訓練実施

9月1日、恒例となっている夜間消防訓練を実施しました。当日は、地元第4分団の消防団員、町職員のの方々を含め約80人が参加、職員の非常招集、利用者の避難誘導、放水訓練などを行いました。また、介護士が、ベッドから車いすへの移乗の方法などについて説明を行いました。



▲職員が車いすへの移乗を説明

松陽中1年生11人が 3日間のボランティア体験

8月31日～9月2日、伊達市立松陽中学校（保原町）1年生11人が「福祉施設ボランティア体験学習」であつかし荘を訪れ、車いす体験のほか壁飾りの製作、紙芝居、ゲームなどで利用者の皆さんと3日間にわたり交流しました。中学生の皆さん、ありがとうございました。



▲伊達市松陽中学校1年生の皆さん

と勘違いする（人物の見当識障害）などがあげられます。このように、見当識障害は、①時間→②場所→③人物の順に障害が進んでいきます。

3. 実行機能障害

実行機能とは、物事を適切に行うための機能です。通常私たちは無意識のうちに、計画を立てる、組織化する、順序立てる、などしながら生活しています。それらの機能が損なわれた状態をいいます。

〔例〕鍋やかんに水を入れずに火にかけて焦がしてしまう。野菜の皮をむかずに煮てしまう。洗濯の手順や段取りがつけられなくなる、など。

信達福祉会『認知症高齢者へのケア』マニュアルから

食

ケア情報 plus

を考える⑤

高齢者のやせは、肥満よりもむしろ死亡のリスクにつながっています。したがって栄養をたっぷりとって健康を維持していくことが重要です。

しかし高齢者ではいろいろな原因で食欲が低下してしまいます。からだにとって必要なエネルギー量は若い人たちに比べれば減りますが、たんぱく質や必須アミノ酸、必須

高齢者の食生活について ～腹八分でバランスよく～

脂肪酸、カルシウムや鉄分などのミネラル、ビタミン類、食物繊維などの成分の多くは若い人たちと同じだけの量、場合によっては若い人たちよりも多く摂らねばなりません。



▲栄養のバランスも考えられたソフト食

しかし少ない食事量でこれらの成分を必要だけとるには、副食からまず食べる

こと、いろいろな食材を利用することなど、食べ方や献立を工夫する必要があります。

百寿者に対し、最も気をつけている食習慣について尋ねると、1日3回規則正しい食事をしている、腹八分を心がけている、バランスよく食べている、などの答えが返ってきます。その他に野菜を多く食べる、肉より魚を多く食べる、よく噛んで食べるといったことがあります。

例えば食事の特性として、前日の夕食から8時間以上経過した朝は、体温も低く、意識もぼんやりしています。こうした身体に対し、朝食は脳の活動に必要なブドウ糖を補給して、脳の動きをよくするのです。

なお、規則正しい食生活とは、時間だけでなく、食事のバランスを整え、腹八分の食事を心がけ、ゆっくりとよく噛んで食べること、そして、何よりも生きる意欲をもって楽しく食べることが含まれています。

(参考・引用：財団法人長寿科学振興財団のホームページより)

あつかし掲示板

●ボランティアの皆さん

【国見町】国見町婦人会連絡協議会様(清掃等)登壇の会様(清掃等)退会連伊達支部女性部様(お話)矢野京子様、渡辺エツ子様(洗濯物たたみ)ニューモラルクラブ様(草刈り)ボランティア紫苑(しおん)様(ホーム内喫茶)国見町社協サマーショートボランティア様、県北中2年2名様(職場体験)【桑折町】桑折町連合婦人会様(清掃等)小山美紀子様(洗濯物たたみ)【伊達市】松陽中学校1年11名様(体験学習)【神奈川県】村上文夫様(ギター訪問)

●利用者への寄贈等

個人(タオル)個人(紙オムツ)

●学生さん等の実習

ニ次学館(ホームヘルパー2級)、福島学院大学短期大学部専攻科(介護福祉士)福島県立医科大学(福祉体験)

(以上、平成22年6月16日～9月30日)



●苦情解決第三者委員 に石幡政子さん

先ごろ法人苦情解決委員会が開かれ、今年度より苦情解決第三者委員あつかしに担当として、桑折町民生児童委員の石幡政子さんが新たに就任されました。

●ホーム内喫茶にボランティア紫苑(しおん)さん

国見町在住の約25名の方々がボランティア紫苑(しおん)を結成し、9月からホーム内喫茶で重誼や唱歌などを歌うボランティアをしてくださっております。楽しいひと時をありがとうございます。



編集後記

◆暑かった夏も去り、過ごしやすい季節を迎えましたが、今後はインフルエンザ等の感染予防に努めなければなりません。うがい、手洗い、マスク着用などで風邪をひかないようにしましょう。
◆今年の夏は小中高、そして大学生の体験・ボランティアさんに多数おいでいた

できました。皆さん最初はお年寄りとのコミュニケーションに戸惑っていましたが、次第に笑顔もみられるようになりました。ご来園ありがとうございました。

あつかし 荘だより

2010年10月1日号

編集 ●あつかし荘
発行 ●社会福祉法人信達福祉会 特別養護老人ホームあつかし荘
〒969-1642 福島県伊達郡桑折町大字北半田字一本木前5の2
TEL. 024-585-5610 FAX. 024-585-5611
URL <http://www.shintatsu.jp>
E-mail: atsukashi@shintatsu.jp

苦情相談 受け付けます

あなたやあなたのご家族などが、現在ご利用されている当事業所の福祉サービスについてご相談等がありましたら、ご遠慮なく「苦情受付担当者」もしくは「第三者委員」にお申し付けください。

【苦情受付担当者】

支援部長 嶋原 誠

主任生活相談員 矢野 克己

【第三者委員】

介護保険運営協議会委員 佐藤 豊治さん

民生児童委員 石幡 政子さん

【苦情解決責任者】

施設長 佐久間 明

居宅

あつかし荘指定 居宅介護支援事業所



佐藤奈穂子

管理者兼介護支援専門員

みなさん、こんにちは。
あつかし荘指定居宅介護支援事業所の佐藤です。

居宅介護支援事業所は主に、

○介護保険の申請手続きの代行

○ケアプランの作成

○各種サービスの情報提供など

を行うところです。

ご自宅でいろいろなサービスを利用しながら安心して生活できるようお手伝いしますので、介護に関する相談、困りごと等ございましたらお気軽にお電話ください。ご相談は無料です。

あつかし荘指定居宅介護支援事業所
電話 024-585-5610